

## 平成25年度下田地区 ユニバーサル社会に対応した 歩行者移動支援に関する現地事業

下田市ユニバーサルツーリズム  
推進協議会

2014年3月10日

## 1 事業の概要

### 1-1 はじめに

伊豆半島の先端に位置する近代史の舞台  
「静岡県下田市」

主要産業  
は観光

海水浴、連台寺温泉  
年間を通じた誘客が市の課題

ユニバーサル観光都市への取り組みを開始

外国人観光客や車いす、ベビーカー利用者でも  
街歩きを楽しめる仕組みづくり

物理的  
バリア

言語  
バリア

心の  
バリア

街並みと商店の魅力を活かした  
「誰もが歩いて楽しめる観光都市」の実現へ



## 1 事業の概要

### 1-2 事業の目的

- ▶ ユニバーサル社会の実現に向けて、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが積極的に活動できるバリアフリー環境の構築をソフト施策の面から推進することが重要であり、そのために、バリアフリー経路案内にも活用できるICT(情報通信技術)による歩行者移動支援の推進が必要とされているところである。
- ▶ 静岡県(下田市)地区において下田市ユニバーサルツーリズム推進協議会と緊密に連携しながら、「車椅子利用者を含めた外国人観光客および日本人観光客の街歩き観光促進を実現する歩行者移動支援サービス」を実施テーマとした歩行者移動支援サービスを構築・運用し、継続的にサービス提供を行う運用体制やビジネスモデルを構築し、サービス提供の効果把握を行う「ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に関する現地事業」の実施、進捗管理及び成果の取りまとめを行うことを目的とする。

#### 【協議会メンバー】

- NPO法人伊豆のせんたんコンシェルジェ
- 下田市産業振興課・観光交流課
- 下田市観光協会
- 下田市商工会議所
- 伊豆急行株式会社
- 東海自動車株式会社

## 1 事業の概要

### 1-3 サービス対象エリア

- ▶ 伊豆急下田駅
- ▶ 道の駅「開国みなと」
- ▶ 了仙寺
- ▶ ベリー艦隊来航記念碑

実証実験エリア  
約1.5km<sup>2</sup>



## 1 事業の概要

### 1-4 協議会内外での関係者間の連携状況

- どのような点に苦勞し、どのように工夫をして解決したか

#### 協議会各メンバー間の情報共有

無料グループウェア「サイボウズLive」を活用し、「下田市歩行者移動支援事業グループ」を作り、資料等の情報共有を図った。

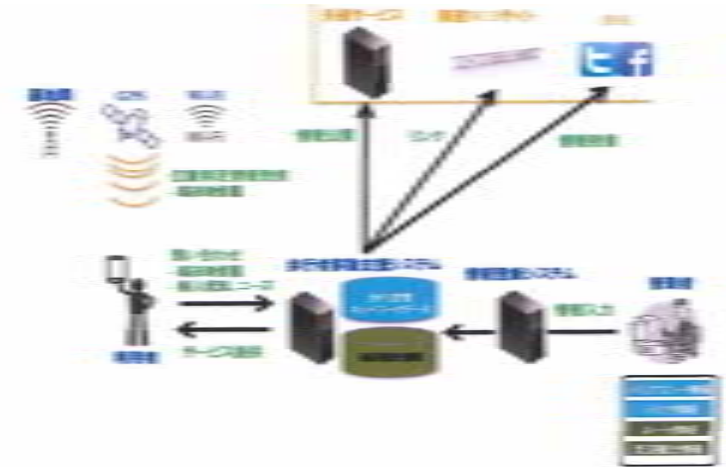
#### 協議会開催

協議会ワーキンググループを発足し、実務レベルでは代表メンバーによる打合せ等を行い、協議会にて承認を得た。

メールや電話、インターネットによる連絡会議の手段も活用した。

## 2 構築したシステムの概要

### 2-1 システム環境構成



## 2 構築したシステムの概要

### 2-2 サービスの特徴

**iPhone/Androidに対応**  
iPhone/Androidに対応。地域毎のアプリケーションを様々なスマートフォンに配信できます。



**4カ国5言語に対応**  
日本語・英語・中国語(繁体字)・中国語(簡体字)・韓国語をサポートするCMSとアプリケーション。世界中の観光客が利用でき



※コンテンツの翻訳は別途必要です

**地域のエンテナは  
エンテナマネージメントシステム(CMS)で管理**  
お客様に、CMSの管理権限をお渡しし、ご自由にコンテンツの編集・入力・削除ができます。操作方法も簡単で、ブログ感覚で更新ができます。スマートフォン・パソコンのどちらにも対応しており、入力された情報は、すぐにアプリに自動反映されます。



## 2 構築したシステムの概要

### 2-3 基本機能



#### 充実した基本機能を搭載

- ①スライドショー機能
- ②テロップ表示・URLリンク集
- ③リスト検索
- ④スポット情報
- ⑤旅の軌跡
- ⑥お気に入り
- ⑦周辺検索
- ⑧モデルコース
- ⑨AR
- ⑩多言語
- ⑪GPS連動機能

## 2 構築したシステムの概要

### 2-4 スライドショー機能



## 2 構築したシステムの概要

### 2-5 TOP画面の機能(テロップ表示・URLリンク集)



## 2 構築したシステムの概要

### 2-5 リスト検索



## 2 構築したシステムの概要

### 2-5 スポット情報画面



## 2 構築したシステムの概要

### 2-6 お気に入り



## 2 構築したシステムの概要

### 2-7 旅の軌跡



## 2 構築したシステムの概要

### 2-7 周辺検索



## 2 構築したシステムの概要

### 2-7 モデルコース



## 2 構築したシステムの概要

### 2-8 AR



## 2 構築したシステムの概要

### 2-9 GPS連動通知



## 2 構築したシステムの概要

### 2-10 多言語



## 2 構築したシステムの概要

### 2-11 コンテンツ操作イメージ

( \* CMS: コンテンツマネジメントシステム )

- コンテンツ・モデルコース・おすすめ・トピック等の作成・更新などあらゆる操作が可能。
- CMSで更新した情報はアプリ上で自動更新される。
- コンテンツ登録時に言語を選択し、指定言語で入力すると、アプリの言語を切り替えた際に反映される。
- iPhoneからもコンテンツの更新が可能です。更新情報は自動でアプリに反映される。

## 2 構築したシステムの概要

### 2-12 スポット情報編集イメージ ム)

( \* CMS: コンテンツマネジメントシステム )



## 2 構築したシステムの概要

### 2-13 システム開発等で技術的に工夫を行った点

- ▶ 外部情報と連携する仕組みを充実させた
  - ▶ 外部HPへのリンク集を用意。アプリ情報だけでなく地域情報や交通情報が集まったポータルとして活用することが可能になる。
  - ▶ FacebookおよびTwitterとの連携によるSNS活用の仕組みを用意。
  - ▶ 観光情報ポータルである「ふらっと案内」へ自動的に情報を再掲載する仕組みを用意。情報公開範囲と認知範囲を広げることが可能となる。安定稼働確認後、運用開始予定。
- ▶ 継続運営のための仕組みを充実させた
  - ▶ ブログ感覚で簡単にコンテンツを追加編集出来るWEBシステム(CMS)を用意。特別な技能がなくてもコンテンツを更新していくことが可能になる。
  - ▶ 特定の場所に近付くとスマートフォンでリアルタイムにお知らせが届く仕組みを用意。例えば駅に到着するとイベント情報を告知するなど今後の観光施策での活用の幅が広がる。
  - ▶ 特定地域をクローズアップする機能を用意。今後、下田旧市街地だけでなく、情報掲載地域が広がった際に素早く見たい地域の情報にアクセスすることが可能になる。

## 3 実証実験の状況、その結果

### 3-1 歩行空間ネットワークデータ整備実験の取り組み

「下田に行こう」のサービス開始に向けて、市役所・住民・社会福祉協議会等と協働し、官民連携型・市民参加型で現地調査を行った。  
車いす利用者にも実際にモデルルートを踏査してもらいながら、段差や傾斜などバリアフリーに関するデータ収集と計測、アンケート調査を実施。

#### ■ 整備実験の状況

実施時期: 12月10日

参加者: 車いす利用者3名、介助者1名を含む16名

目的: 車いす利用者への推奨ルートを再検証

成果: 参加者のバリアに対する気づきを促すことができた。

伊豆新聞、NHK静岡放送局、下田ケーブルテレビ、FNNテレビ静岡で報道され、地域住民への周知と理解度を高めた。



【整備実験の様子】

## 3 実証実験の状況、その結果

### 3-1 歩行空間ネットワークデータ整備実験の取り組み

- ▶ 【参加者の感想】
- ▶ ・今まで段差や傾斜など気にせず歩いてきたが、今後はバリアについて意識するようになるだろう。
- ▶ ・側溝や道路の小さな溝に車輪がはまると困る。車いすだと一人で行動するのが怖いと感じた。
- ▶ ・トイレや駐車場だけでなく、障がい者にも優しい飲食店等の情報もマップに盛り込んでほしい。
- ▶ ・事業完了後に利用者の感想を聞くのではなく、計画段階から利用者の意見を聞くことが不可欠。
- ▶ ・ハード事業もさることながら、このような市民参加による取り組みで人によるソフト面も大切であることを住民に指し示していくと良いと思う。



歩行経路(リンク)調査箇所数: 246箇所  
結節点(ノード)調査箇所数: 222箇所  
リンク総延長: 約6.8km

### 3 実証実験の状況、その結果

#### 3-2 実証実験(モニター調査)内容の概要

「下田に行こう」サービス開始にあたり、官民連携・市民参加型での実証実験を2回実施する。サービス対象者の円滑な移動に対する効果を把握するため、サービス対象者に対してアンケートによる調査を行い、集計・分析を行う。(アンケート有効回答者数34)

##### ■ 実証実験(モニター調査)の状況

【第1回目】

実施時期:2月14日(金) 13:00~16:00

参加者:本事業関係者、下田市役所職員、地域の福祉関係者、観光関係者ら14名

【第2回目】

実施時期:3月5日(水) 11:30~14:30

参加者:本事業関係者、下田市役所職員、社会福祉協議会、観光協会、東海バス、  
商工会議所、メディア関係者、外国人学生、車いすユーザーら24名

### 3 実証実験の状況、その結果

#### 3-2 実証実験(モニター調査)内容の概要

【調査内容 評価項目(抜粋)】

##### ■ 評価項目(サービス対象者)

- (1)本サービスは、下田市での**移動の利便性・安全性**を向上させる効果がありますか。
- (2)本サービスは、下田市での**回遊性を向上**させ、**移動機会を増やす**のに効果がありますか。
- (3)本サービスは、下田市への**来訪者を増やす**のに効果がありますか。
- (4)本サービスの**改善点**はありますか。

##### ■ 回答(3段階評価/自由記述)

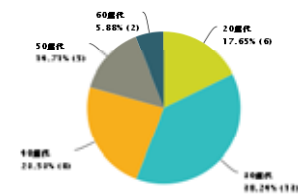
「効果がある」「少しは効果がある」「効果はない」

### 3 実証実験の状況、その結果

#### 3-3 アンケート結果

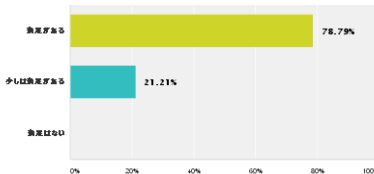
1. あなたの年齢を教えてください

図表: 14 スキャット



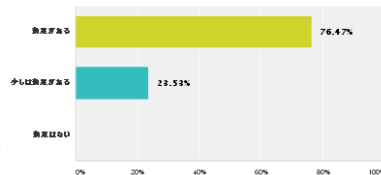
12. 本サービスは、下田市での移動の利便性・安全性を向上させるのに効果がありますか

図表: 13 スキャット



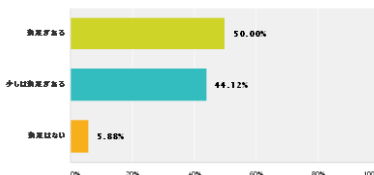
13. 本サービスは、下田市の回遊性を向上させ、移動機会を増やすのに効果がありますか

図表: 14 スキャット



14. 本サービスの導入は、下田市への来訪を増やすのに効果がありますか

図表: 14 スキャット



### 3 実証実験の状況、その結果

16. 本サービスの改善点や、他の地域での展開についてご意見をお願いします

図表: 16 スキャット



17. 通行で注意すべき箇所、危険な箇所にお気づきの場合は、ご記入ください

図表: 17 スキャット



## 3 実証実験の状況、その結果

### 18. その他、ご意見があればお願いします

投稿日時: 2014/03/06 12:54

投稿者: 匿名希望

2014/03/06 12:54 匿名希望の投稿を見る

観光のチラシにリンクや情報も載せるようにしたい方が多い。

2014/03/06 12:48 匿名希望の投稿を見る

なし。

2014/03/06 12:29 匿名希望の投稿を見る

手帳を動かすのが困難なため、原本は使いにくい。

2014/03/06 12:25 匿名希望の投稿を見る

店舗情報がなかなか見つからない。店舗の情報を掲載してほしい。また、観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。また、観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:22 匿名希望の投稿を見る

観光客をうまく活用する。観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:19 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:18 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:15 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:14 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:13 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:12 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:11 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:10 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:09 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:08 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

2014/03/06 12:07 匿名希望の投稿を見る

観光客が正しいように、商店街・アイランドマップ、店舗の情報を掲載してほしい。

## 4 事業の成果

### 4-1 官民連携・市民参加型による成果

「市民参加型・官民連携型の  
歩行空間ネットワークデータ整備実験」  
報道状況  
(平成25年12月)

### NHK静岡放送局 平成25年12月11日(水) 6:14 ~ 6:16



下田市内の観光地のバリアフリーマップを作るために、市民も参加して道路の幅や傾斜などを計測して情報を集める取り組みが下田市内で行われました。



そして、メンバーが車いす3台に乗って、市内の観光地や観光地を結ぶ道およそ1.5kmで障害がある場所がないかチェックしていきまし。観光客に人気のペーロードでは、道路に小さな溝があったり段差があったりして、車いすのタイヤが挟まるなどしました。



この取り組みは、下田市や社会福祉協議会などで組織している下田市ユニバーサルツーリズム協議会などが行ったもので、市民を含め18人が参加しました。



下田市のバリアフリーの現状調査は、来年の2月まで市内の観光地を中心に行われ、今後の対策に生かすとともに、集まった情報を書き込んだ地図を作る予定だということです。

### FNNテレビ静岡 平成25年12月11日(水) 6:33 ~ 6:34



車いすを利用する観光客に歩きやすい遊歩道などを示す地図を作成しようと、下田市で今日、関係者たちが観光地などを回り、道幅や坂の傾斜、段差などを調べました。



トイレなどの入り口や歩道の幅、それに坂の傾斜などを測量していました。



参加したおよそ15人が下田市内の遊歩道や観光地を回り、車いすでは、移動しにくい場所を確認していました。



協議会の担当者は、今日の調査などを通して、足が不自由な観光客をもてなす意識をもってもらえればと話していました。

下田ケーブルテレビ 平成25年12月10日(火) 16:46 ~ 16:49



国土交通省が進めるユニバーサルツーリズム現地実証実験事業の現地調査が今日10日、下田市内で行われました。  
国は、車いす使用者や歩行補助用具を使用する高齢者などの歩行移動困難者に対する移動支援、また外国人観光客に対する言語バリアをサポートするための情報提供サービス事業をスタートさせるにあたり、下田市内をはじめ国内5箇所を選定しました。  
今日の調査は、この事業をスタートさせるための基礎データとなる歩行空間ネットワークデータの計測などが行われたものです。



はじめに、現地調査にあたる下田市、下田市社会福祉協議会、NPO伊豆のせんたんコンシェルジェ、車いす利用者など15人に対し、事業や調査方法などについて説明が行われました。



この後、歩道の段差や観光トイレ、観光施設などが歩行困難者に対応した整備が行われているかどうかなど1.5kmにわたって調査しました。  
この調査は、今後も旧町内を中心に4.5kmにわたって行われ、調査結果をもとに、来年2月モニターツアーを実施し、平成26年度からの本格運用を目指していきます。

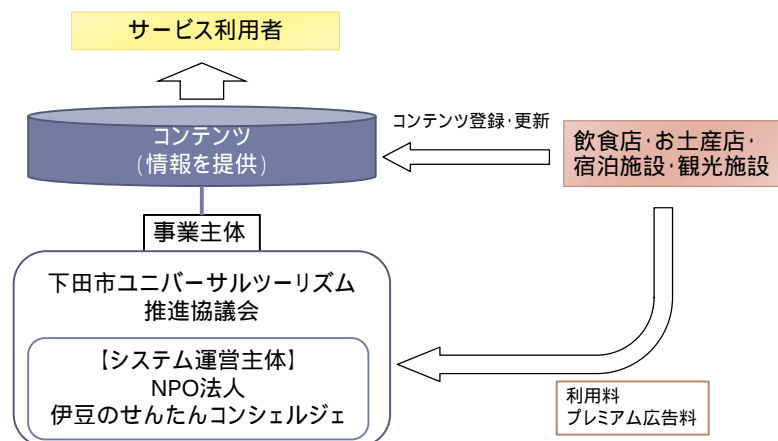


この事業では、車いすの利用者などが利用できるスマートフォン用の無料アプリ、「下田へ行こう」を製作し、地域の観光スポットやバリアフリー情報などを入手できる情報提供サービスを実施していきます。  
また、外国人旅行者に対応した、英語、中国語、韓国語でも表示され、外国人の観光地巡りをサポートします。



## 5 事業継続に向けた方針

### 5-1 継続的なサービス提供に向けたビジネスモデルについて



## 5 事業継続に向けた方針

### 5-2 継続性の観点での課題

アプリのシステム使用料  
コンテンツの充実と情報の更新

官民協働・市民参加型でのネットワークデータ整備実験や実証実験において、アンケート調査や意見交換会などで得た利用者の声をできるだけ反映できるよう、システムの改良やコンテンツの充実を図り、継続的な運用に結びつけていきたい。

システムリリース後の取り組み

- 無料の観光情報配信プラットフォーム「ふらっと案内」への情報掲載
- NPO法人伊豆のせんたんコンシェルジェが運営するWEBサイト「伊豆たび」への情報掲載
- 「下田に行こう」を広く情報公開していく

来年度以降の方針

- 下田市役所と連携を図り、防災面で市の情報との連動を検討していく
- 伊豆地域のユニバーサルツーリズム事業関係者と連携を促進し、地域全体の競争力強化に向けて展開していく

## 6 運用上の課題

### 6-1 アプリおよび歩行空間NWD等のシステム維持における課題と対処法

歩行者空間ネットワークデータによるモデルルートの拡充

- 自動経路検索機能がないため、マニュアルでノード情報を活用したモデルルートを作成している。
- 柔軟性のあるシステムとするため、今後の運営で自動検索ができるシステムとの連携を検討する。

アプリ説明の充実

- 関係者、利用者の意見を取り入れながら、利用しやすいアプリにするための工夫をアプリ、コンテンツの両面から実施する
- 例: バリアフリー情報が利用できることの表示、バリアフリーナビの使い方、利用者が欲する情報の発信など

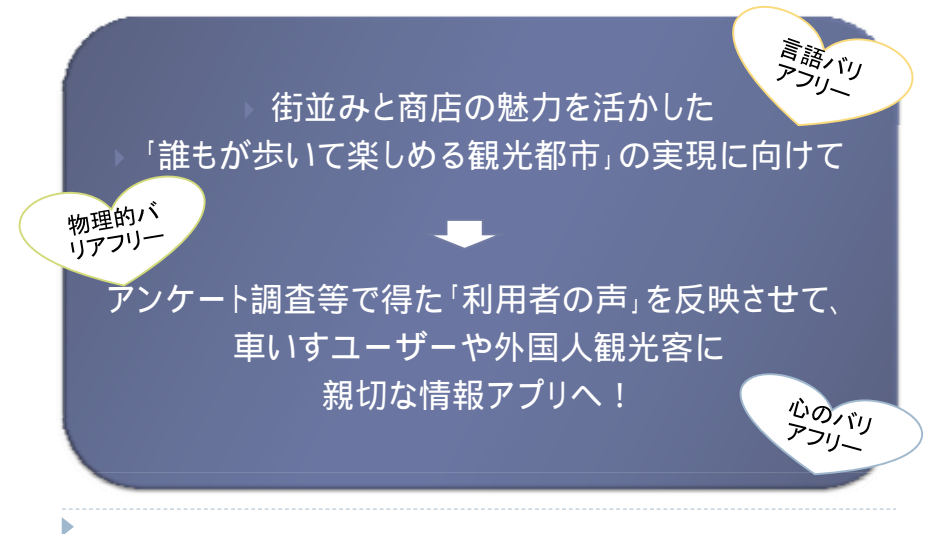
多言語コンテンツの更新

- 韓国語、中国語(繁体字、簡体字)、英語などの他言語情報の追加および更新が課題である。

外国人が利用できる通信環境の整備

- 外国人向けのコンテンツを準備しても通信環境が無ければ使用できない。外国人受け入れ態勢を高める一つの要素として通信環境を整備することも必要である。

## 7 おわりに



## 7 おわりに

